

今こそ「創意」発揮すべき

— CAL 研究会 — 松山市で勉強会

【松山】CAL 研究会は先頃、三原産業（松山市）で「CAL 研究会」（勉強会）を開催。全国から参加者が集った。

今回は「今こそ、創意」を發揮すべき時」をテーマに実施した。初日には同会の生川正洋氏が講演。米国やイスラエルによるイラン攻撃やホルムズ海峡封鎖、原油価格高騰、ロシアによるウクライナ進攻などの世界情勢や、人口減少・高齢化といった国内情勢に触れたうえで「CALは

創業以来、自立と相互支援」「人間中心主義」といった理念を掲げ活動してきた。多くの仲間を集め成果をあげてきたが、時代は大きく変わってきている。激動期を乗り越え発展するためには、画期的な考えにもとづいて新しい活動を展開しなければならぬ。『発展なき者は滅びる』が人の世の鉄則だ」と強調する。「真似する時代から自ら創造する時代。『創意』をもって活動を見直す時だ。大事なのは新しい事業をつくり出すこと。徹底した積極策を選ぶべきだ」と熱弁した。

「真似する時代から自ら創造する時代。『創意』をもって活動を見直す時だ。大事なのは新しい事業をつくり出すこと。徹底した積極策を選ぶべきだ」と熱弁した。続いて三原産業の三原英人代表取締役社長が「令和の石油ショックといわれるような状態。（参加者も）販売も仕入れも、物流面でも大変なご苦労をされているのではないか。しかし、



会場の様子

こういったときだからこそ、石油流通にかかわる企業というのは人々の暮らしになくては

三原社長（左から2番目）と2日間の登壇者



理念、経営目標、事業内容、ビジョンなどを説明した。

またカライフサポート部の藤田章弘販売戦略課長がSSなど同社拠点を紹介。藤田課長ら担当者がCAL研究会の愛車クラブ（顧客管理シス

ならない、さまざまな産業になくはならない、そして、それらをしっかりと広く深く支えている事業であること、みなさんと気持ち共有したい」と語り、同社の歴史や経営（テム）を導入した成功事例やタイヤ販売、新入社員などのキャリアプラン、ミャンマーからの技能実習生への教育を通じて学んだこと、車買取の重要性、キャンピングカー販売について説明した。